人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

創立指揮者 渡邊曉雄

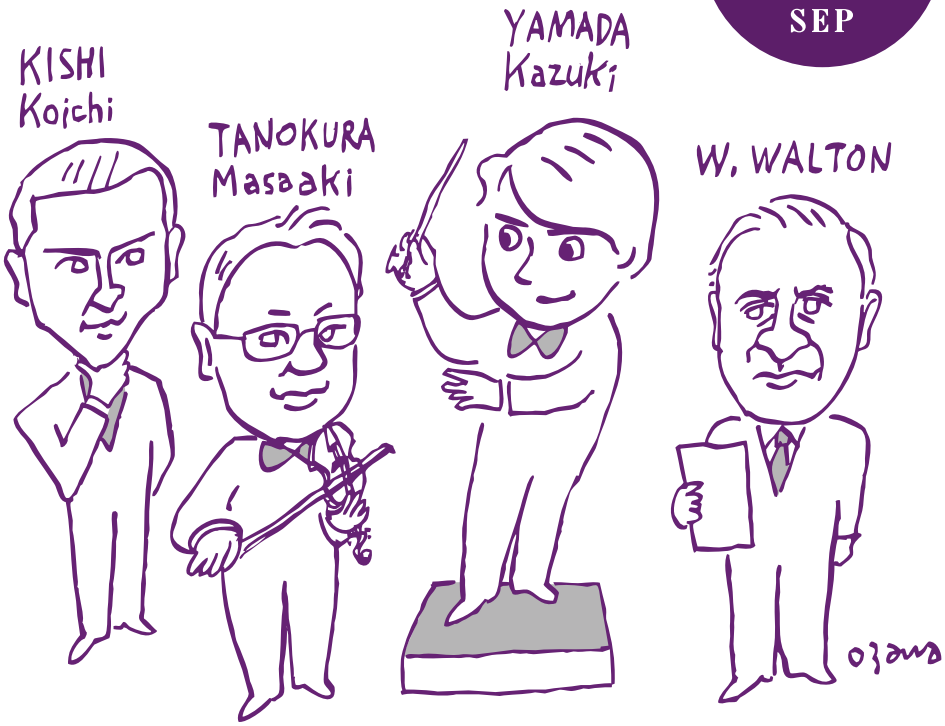
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

# SUBSCRIPTION CONCERTS

第743回
東京定期演奏会

サントリーホール
2022年9月2日(金)19:00
9月3日(土)14:00

2022
9
SEP




日本フィルハーモニー交響楽団

## 2022年シーズン開幕ご挨拶

2022年シーズンの開幕でございます。

新型コロナウイルスの猛威に翻弄され、なかなか日常を取り戻せない日々ですが、感染症対策を徹底して来た効果も浸透し、クラシック演奏会は安全との信頼が徐々に定着しつつあるように思います。2020年初頭の長期間にわたる演奏会自粛のあと実感した、“生の演奏の素晴しさ”。この感激を大切にし、クラシック音楽の奥深い、探究心をくすぐられるような楽しい世界へ皆様と共に進んでいきたいと思います。

今シーズンはイギリスの音楽祭「BBCプロムス」で大成功を収めたばかりの山田和樹でスタートします。シーズン通しての最大の話題はピエタリ・インキネンの首席指揮者としてのファイナル・シーズン。「ベートーヴェン・ツィクルス」、そしてグランド・フィナーレは就任以来温めていたシベリウスの超大作《クレルヴォ交響曲》にご期待ください。

次期首席指揮者のカーチュン・ウォン、フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）広上淳一、下野竜也、そして桂冠名誉指揮者の小林研一郎という鉄板の布陣で皆様のお越しをお待ちしております。こだわりぬいたプログラムは時空を超え、人々の想いを音楽でつないでゆくに違いありません。

桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフとはなんとしても日本に紹介したい名曲の数々を計画しておりますが、モスクワに家族とともに居を構えるマエストロ、来日の壁は益々高まっているように感じています。

知れば知るほど面白いクラシック音楽、各回の面白さを、音楽評論家・奥田佳道さんに映画プロデューサー村上典吏子さんが問う「5分でわかる！大人のためのオーケストラ入門」もお楽しみ下さい（P.30）。

今シーズンも通常に戻れない状況での幕開けとなりましたが、本日ご来場いただきましたこと心より感謝申し上げます。演奏家にとって大きな励みとなります。

舞台と客席の音楽を通しての“心の交流”を大切にし、温かい演奏会をつくりあげていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長　平井俊邦

©堀田 力丸

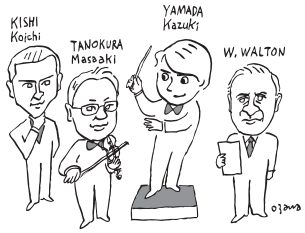
# CONTENTS
目 次


- プログラム 4
- 出演者プロフィール 6
- プログラム・ノート- 小味渕 彦之 - 8
- 写真プレイバック- 2022年6月7月 - 11
- 山田和樹、正指揮者の10年間を写真で振り返る 12
- 第16回 後藤新平賞 授賞式レポート 14
- 感動の共有　～ご支援のお願い～ 21
- 日本フィルハーモニー交響楽団　特別会員ご芳名 22
- パトロネージュご芳名 26
- Member’s TVU CHANNEL 配信一覧 28
- 新入団員紹介 29
- 5分でわかる！大人のためのオーケストラ入門 30
- 横浜カルチュラル・ワンダーランド 31
- 次回東京定期演奏会 32
- インフォメーション 34
- 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団　名簿 35


JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA
SUBSCRIPTION CONCERTS　Vol.743

# JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 743rd SUBSCRIPTION CONCERTS

## 日本フィルハーモニー交響楽団
## 第743回 東京定期演奏会




| サントリーホール Suntory Hall | 2022年9月2日(金)午後7時開演／3日(土)午後2時開演 |
|---|---|
| | 7:00p.m. September 2nd (Fri.) & 2:00p.m. 3rd (Sat.), 2022 |

主　　催 ／ **公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団**

協　　賛 ／ **鹿島建設株式会社　三井不動産株式会社**

衣装提供 ／ 株式会社カインドウェア
表紙イラスト ／ 小澤 一雄

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）独立行政法人 日本芸術文化振興会

### 感染防止策にご協力をお願いいたします。

- ●スタッフは不織布マスクを正しく着用します。また、小声で対応させていただきます。
- ●入場時の手指消毒、手洗い、検温をお願いいたします。
- ●ホール内ではマスク（不織布など効果の確かなもの）を正しく着用し、周囲のお客様への配慮をお願いいたします。
- ●開演前はなるべくお席でお過ごしください。また時差退場のご協力をお願いいたします。
- ●会場ロビーでの食事はお控えください。（ホール内は飲食禁止です）
- ●ブラボー等の掛け声はお控えください。ホール内では大声での会話を避けるようご協力をお願いいたします。
- ●出演者へのプレゼント（お手紙・お花などを含む）、面会、楽屋入待ち、出待ち等はご遠慮ください。
- ●チケットご購入者と演奏会ご来場者のお名前が異なる場合は、ご来場者のご住所、お名前、電話番号を弊団までお知らせください。
- ●万が一感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へお客様のお名前と連絡先を提供する可能性がございます。
- ● 新型コロナウイルス接触アプリ（COCOA）等通知アプリの利用をお勧めいたします。

＊この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。



### 貴志康一：ヴァイオリン協奏曲*　約36分
KISHI Koichi: Concerto for Violin and Orchestra

休憩（15分）Intermission

### ウォルトン：交響曲第1番 変ロ短調**　約43分
William WALTON: Symphony No.1 in b-flat minor

指揮：山田 和樹
Conductor: YAMADA Kazuki

ヴァイオリン：田野倉 雅秋*
［日本フィル・ソロ・コンサートマスター］
Violin: TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

ゲスト・コンサートマスター：鎌田 泉 *
Guest Concertmaster: KAMATA Izumi

コンサートマスター：田野倉 雅秋［日本フィル・ソロ・コンサートマスター］**
Concertmaster: TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：菊地 知也［日本フィル・ソロ・チェロ］
Solo Violoncello: KIKUCHI Tomoya, JPO Solo Violoncello

### 演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

**■ 演奏会をお楽しみいただくために**
演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。また手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声などで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、写真撮影は固くお断りしております。

**■ 電源OFF**

**■ 声と拍手にご注意を**

**■ 周囲にご配慮を**

**■ 音にご注意を**

**■ 撮影禁止**

©Zuzanna Specjal

# Conductor 指揮

## 山田 和樹

YAMADA Kazuki

第51回（2009年）ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。ほどなくBBC交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。同年、ミシェル・プラッソンの代役でパリ管弦楽団を指揮。以降、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団（シュターツカペレ・ドレスデン）、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、ベルリン放送交響楽団、エーテボリ交響楽団、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団など世界の主要オーケストラに客演を重ねている。

2017年にはベルリン・コーミッシェ・オーパーで《魔笛》、モンテカルロ歌劇場で《サムソンとデリラ》《ヴォツェック》を指揮して高い評価を得るなど、オペラの分野でも活躍。

2014/2015年にアメリカデビュー、2015/2016年にはオセアニアデビュー。

2021年にはサンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団デビュー、2022年6月にはワシントン・ナショナル交響楽団デビューを成功させ、いずれも再客演が予定されている。

2012年から2018年までスイス・ロマンド管弦楽団の首席客演指揮者を務めた他、2016/2017シーズンから、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督に就任。2018/2019シーズンから首席客演指揮者を務めるバーミンガム市交響楽団では、2023年4月から首席指揮者兼アーティスティックアドバイザーに就任することが発表された。

2022年7月にはバーミンガム市交響楽団とBBCプロムスにデビュー。

日本では、2022年8月まで10年にわたり日本フィルハーモニー交響楽団正指揮者を務めた他、現在は読売日本交響楽団首席客演指揮者、東京混声合唱団音楽監督兼理事長、学生時代に創設した横浜シンフォニエッタの音楽監督としても活動している。

東京藝術大学指揮科で小林研一郎・松尾葉子の両氏に師事。

実行委員会代表を務めた『柴田南雄生誕100 年・没後20年 記念演奏会』が平成28年（2016年）度文化庁芸術祭大賞、日本フィルハーモニー交響楽団と3年に亘り行った『山田和樹マーラー・ツィクルス』が第67回（2017年）芸術選奨文部科学大臣新人賞など受賞多数。

本質に迫るとともにファンタジーあふれる音楽づくり、演奏家たちと一体になって奏でるサウンドは、音楽の喜びと真髄を客席と共有し熱狂の渦に巻き込む。名実ともに日本を代表するマエストロである。

ベルリン在住。

# Violin ヴァイオリン

## 田野倉 雅秋

［日本フィル・ソロ・コンサートマスター］

TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

4歳よりスズキ・メソードにてヴァイオリンを始め、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経てジュリアード音楽院より学士号を取得。故小国英樹、原田幸一郎、清水高師、川崎雅夫、故ドロシー・ディレイ、チョーリャン・リンの各氏に師事。

全日本学生音楽コンクール東京大会中学生の部第１位、日本音楽コンクール第2位、アスペン音楽祭コンチェルトコンクール優勝、第6回ニールセン国際コンクール（デンマーク）優勝。

これまでに日本フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、オーデンセ交響楽団、アスペン・コンサートオーケストラ、チェコ国立劇場管弦楽団などのオーケストラ、外山雄三、秋山和慶、大植英次、広上淳一、ラン・シュイ、ヤン・ワーグナー、マーティン・ブラビンズ、アラン・ブリバエフ、大友直人、山田和樹、川瀬賢太郎などの指揮者とソリストとして共演している。

広島交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター、大阪フィルハーモニー交響楽団首席コンサートマスターを歴任し、2019年には日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターに就任、現在同楽団ソロ・コンサートマスターおよび兵庫芸術文化センター管弦楽団コンサートマスター。その他仙台フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、日本センチュリー交響楽団、琉球交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団などにコンサートマスターとして客演している。

2019年9月には日本フィルコンサートマスター就任記念として第713回東京定期演奏会において正指揮者（当時）山田和樹の指揮で間宮芳生作曲ヴァイオリン協奏曲のソリストを務め、その際のリハーサル及び本番には作曲者も立ち会っている。国内外のオーケストラや指揮者からのコンサートマスターとしての指名も多く、その信頼はとても厚い。東京都出身。

# プログラム・ノート 解説：小味渕 彦之

どちらも1935年に書き上げられた協奏曲と交響曲が組み合わされたプログラム。成立した年代が同じとはいえ、そこにあらわれる音楽の様子は相当に異なっています。まずは日本フィルハーモニー交響楽団が設立以来、大切にし続けてきた日本人作品で、なかなか演奏機会のない貴志康一の協奏曲を。さらに、本日の指揮者である山田和樹がイギリスのバーミンガム市交響楽団の首席客演指揮者を務めていることにちなみ、イギリスの作曲家であるウォルトンの交響曲が選ばれました。

## ◆ 貴志康一：ヴァイオリン協奏曲

貴志康一（1909-1937）は大阪府吹田市生まれで、大阪市都島区を経て、兵庫県芦屋市で育った日本の作曲家です（いずれも行政区域は現在の名称）。ヴァイオリン奏者、指揮者としても活動をしました。繊維問屋を営む裕福な家庭に育ち、楽器を習う前からヴァイオリンを玩具として遊ぶという環境にありました。貴志は1921（大正10）年（12歳）に神戸でミッシャ・エルマンが弾くヴァイオリンを聴いてから、本格的にこの楽器と向き合うようになります。最初の教師は母、カメも師事した大橋純二郎でしたが、1923（大正12）年からは神戸在住のロシア人ヴァイオリニストのミハイル・ヴェクスラーに教えを受けることになりました。

貴志邸は芦屋市伊勢町にあったのですが、そこからほど近い現在の神戸市東灘区深江南町となる芦屋川河口の西岸地域には、深江文化村（当時は芦屋文化村）と呼ばれた区域があり、ロシア革命を逃れて国外へ脱出した白系ロシア人たちが暮らしていました。当時この付近は阪神間の富裕層の別荘地として宅地造成が進んでいたのです。貴志はここに住むヨーゼフ・ラスカ（宝塚交響楽団の指揮者、神戸女学院の音楽教師）に1925（大正14）年から音楽理論を学んでいます。同じ深江文化村に住むピアニストのアレクサンダー・ルーチンはヴェクスラーと共演して演奏会を開くなど、関西在住の外国人音楽家には密なネットワークがあったことがうかがえます。

貴志は1926（大正15）年（17歳）に甲南高等学校高等科を中退して、スイスのジュネーヴ音楽院に留学します。1928（昭和3）年にドイツのベルリンに移って、その翌年にヴァイオリンの名器ストラディヴァリウスを購入しての帰国は、大きな話題となりました。1930（昭和5）年に再びベルリンへ赴き、1931年夏に帰国。翌1932（昭和7）年秋に再びベルリンへ渡ります。ヨーゼフ・ヴォルフスタールにヴァイオリンを、フルトヴェングラーに指揮法を、ヒンデミットなどに作曲を学びました。ベルリン・フィルを指揮し、自作の録音も残しています。1935（昭和10）年に帰国後は新交響楽団（現・NHK交響楽団）を指揮するなどしましたが、1937（昭和12）年11月17日、前年の秋にあの世へと旅立った父と妹に呼び寄せられるように、貴志は28年の早すぎる生涯を病気のために閉じました。貴志がもっと長命であったならば、関西の音楽界、さらに日本の音楽界は、大きく変わっていたかもしれません。

《ヴァイオリン協奏曲》は1931年から1932（昭和7）年にかけて日本で作曲が進められ、この年の10月以降の3度目のベルリン滞在中に、まずは1934（昭和9）年に第1楽章が完成。1935（昭和10）年には全曲が書き上げられています。1934年3月29日にベルリンで、映画会社のウーファのオーケストラの演奏で、第1楽章のみがゲオルク・クーレンカンプの独奏、貴志の指揮によって初演されました。時を隔てて貴志の没後、太平洋戦争中の1944（昭和19）年1月17日に、大阪の朝日会館で開かれた「貴志康一遺作発表演奏会」で、全曲の初演となる日本初演が、辻久子の独奏、尾高尚忠指揮の大阪放送管弦楽団によって行われました。さらに旧満州の新京（現・長春）で、1945（昭和20）年1月30日に辻久子の独奏、朝比奈隆指揮の新京交響楽団が演奏をした記録があります。辻と朝比奈は1978（昭和53）年6月30日に、貴志の母校である甲南学園の創立60周年記念と甲南中・高等学校講堂竣工記念として開かれた「貴志康一作品演奏会」で、大阪フィルハーモニー交響楽団と共に再びこの作品を演奏しています。1980年代に入ると関西フィルハーモニー管弦楽団の常任指揮者を務めた小松一彦が積極的に貴志作品を取り上げることで、再評価の嚆矢となりました。遺品が1976（昭和51）年に甲南学園へ寄贈されたことをきっかけに、同学園には貴志康一記念室が設けられています。所蔵資料を管理するとともに、楽譜出版も手がけ、この《ヴァイオリン協奏曲》のスコアも2021年に同記念室から出版されました（校訂・監修：木許裕介）。

3つの楽章で構成。当初は木魚など、日本の楽器を加える構想でしたが、最終的には一部3管編成の一般的なオーケストラで書かれています。〈第1楽章〉は日本の祭囃子を思わせる開始。こうした祝祭的な響きと、抒情的な部分のコントラストが明確に描かれていて、はっきりとした起承転結を持った音楽はこの時代の日本人の作品として驚くべき仕上がりです。〈第2楽章〉の冒頭は木管楽器とハープで奏でられ、この作品でもっとも日本を感じさせる音楽で始まります。途切れることなく歌われる抒情性が魅力的。〈第3楽章〉は再び祭囃子を思わせる音楽で始まります。冒頭の動機は第1楽章の主題と関連を持ち、4分の2拍子と8分の6拍子が組み合わされた活気あふれる響きが、曲の最後まで息づいています。デュカスの交響詩「魔法使いの弟子」（1897年作曲）を思い起こさせる部分もあってにやりとさせられます。全曲を通じてあらわれる雄弁なソロ・ヴァイオリンのパートは、全楽章に登場するカデンツァも含め、貴志自身がヴァイオリニストであった強みが何よりも生かされたものでした。またシロフォン（木琴）の小粋な使い方も、この作品の特色となっています。

楽器編成：ヴァイオリン独奏、ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、中太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、カスタネット、グロッケンシュピール、タンブリン、ウッドブロック、銅鑼、むち、シロフォン、ハープ1、弦楽5部。

## ◆ ウォルトン:交響曲第1番 変ロ短調

ウィリアム・ウォルトン(1902-1983)は20世紀の作曲家。エルガーとヴォーン・ウィリアムズに続いて登場したイギリスの作曲家です。同じくイギリスを代表する作曲家となったブリテンは11歳年下でした。ウォルトンの作品は多岐に及び、映画音楽も積極的に手がけましたが、演奏会用作品の数は少なく、寡作の作曲家と言えるでしょう。作曲は独学で取り組みました。

交響曲は2曲残されました。本日演奏される《第1番》は1934年に第1、2、3楽章が完成され、新作を約束していたハミルトン・ハーティ指揮のロンドン交響楽団によって先に演奏会で取り上げられます。ウォルトンは失恋のショックで作曲の筆が滞ったとされています。全曲の初演は、新たな恋の相手があらわれて、作品が1935年(33歳)に完成した後、この年の11月6日に、ハーティ指揮のBBC交響楽団が行いました。なお《交響曲第2番》は25年先となる1960年の成立です。

《交響曲第1番》について、シベリウスの音楽の影響が指摘されることがたびたびあります。確かに、この時点までにほぼすべての作品が発表されていたフィンランドの孤高の大作曲家と共通した語法こそあるものの、その音楽的な発露のプロセスは大きく異なっていて、ウォルトンの音楽はより生々しい響きが連ねられたものと受け取ることができます。第二次世界大戦は開戦前ですが、2つの大戦間にあった不穏な世界情勢の影響は、少なからずこの作品にも反映されているように感じます。

4つの楽章で構成。〈第1楽章〉では、フルチャージされてあふれ出しそうなエネルギーが音の線の交錯となって、縦横無尽に組み合わされています。〈第2楽章〉は突っ走るスケルツォ楽章。「悪意をもって(邪気をもって)」と指示されます。4分の3拍子に時折4分の5拍子を交えつつ、畳みかけるようなリズムで、シニカルに駆け抜けます。通例のトリオ部分はなく、楽章結尾の5小節の全休止、3小節間でシンコペーションを強調した6発の打ち込み、さらに1小節の全休止を経ての終結が意味を持って響きます。〈第3楽章〉は緩徐楽章の役割を果たすもの。木管楽器とホルンによるソロが歌い継がれる中で、弦楽器が一定のリズムを刻みます。主導権が弦楽合奏に渡ると重苦しさが増して、行き場のない慟哭が続きます。最後は逡巡するフルートのフレーズが後を引きつつ終わります。〈第4楽章〉は多くの楽器が同じリズムを刻む箇所が多く、ゴツゴツとした響きが積み重なりました。2組のティンパニが、同じ音型でハーモニーを構築しつつ、壮大なフィナーレを先導します。

楽器編成:フルート2(ピッコロ持替1)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ2、シンバル、小太鼓、銅鑼、弦楽5部。



# Playback プレイバック

6月7月の公演を振り返ります

PHOTO 1 6月東京定期演奏会は、秋山和慶マエストロが東京定期演奏会に50年ぶりに登場!小川典子さんとともに究極のフレンチ・プロをお届けいたしました。*

PHOTO 2 7月横浜定期演奏会と杉並公会堂シリーズは広上マエストロ&福間洸太朗さんコンビ。ベートーヴェン・プログラムをお楽しみいただきました。コンサートマスターの木野雅之も一緒にぱちり。*

PHOTO 3 7月東京定期演奏会は引き続き広上マエストロとブルックナー・プロジェクトの第2弾を。米元響子さんとのスコットランド幻想曲と合わせてお楽しみいただきました。*

PHOTO 4 夏休みコンサート2022は全公演完売御礼で初日を迎えました!前半の公演は上原彩子さんとのピアノ・プログラム。後半の公演はスターダンサーズ・バレエ団との白鳥の湖をお届けしました。勇気100%では指揮者の永峰大輔さんも、司会の江原陽子さんも、楽員さんもみんなでダンス!ダンス!

*印のアーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。
https://members.tvuch.com

# ～山田和樹、正指揮者の10年間を写真で振り返る～

1 2011年4月 インキネンの代役で急遽東京定期デビューとなりました。

2 2012年9月 正指揮者就任！全公演でプレトークをすることに。

3 9月コンチェルト・シリーズ開始！初回は小山実稚恵さんと協奏曲を2曲！

4 2013年4月 文化庁芸術祭賞音楽部門新人賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、渡邉曉雄音楽基金音楽賞の3賞を受賞したマエストロへのお祝い、そして日本フィルの公益財団法人認定のお祝いを兼ねた特別演奏会。

5 2014年4月 山田和樹初記者会見はBunkamura「マーラー・ツィクルス」と日本フィル正指揮者延長の発表。「オンリーワンのオーケストラ、日本フィルとともに！」

6 2015年1月 マーラー・ツィクルス第1回目の終演後はサプライズのお誕生会。

Bunkamuraさんが用意してくださったバースデーケーキはなんとマーラーでした！

7 2014年9月 杉並公会堂でのコンチェルト・シリーズ。写真は杉並児童合唱団と。この公演では3つの協奏曲を演奏しました。

8 2015年9月 2016年8月に、サントリーホールとの共催公演とっておきアフタヌーンで歌舞伎の尾上右近さんと共演。振付は尾上菊之丞さん。

9 2016年11月 柴田南雄生誕100年・没後20年記念演奏会 マエストロが実行委員長となって企画した大プロジェクト。文化庁芸術祭賞音楽部門で大賞を受賞しました。

10 2017年2月 日本フィル28年ぶりのグランドオペラは藤原歌劇団公演のカルメン（演出：岩田達宗）。初のオペラは日本フィルと、と決めていた、というマエストロ。

11 2017年4月 がん患者さんが歌う春の第九。全員に歌詞を自ら訳すように宿題をだしたマエストロ。そして本番はパートごとではなく、家族や仲間と隣で歌うことに。写真は直前のリハーサル。

12 2017年9月 日本フィルシリーズの再演で 石井眞木『遭遇Ⅱ』。「岩城先生が"初演魔"なら僕は"再演魔"になりたい」きらびやかな雅楽との饗宴。

13 2018年1月 横浜定期演奏会のシーズンファイナルパーティーでピアニストの小曽根真さんと。

14 2018年2月「山田和樹アンセム・プロジェクトRoad to 2020」記者会見。世界中の国歌を東京混声合唱団とレコーディングすることを発表。キングレコード、ジャパンアーツ、全音、東京ハッスルコピー、日本フィルとともに。

15 2020年9月 新型コロナウイルスの影響で中止が続いた音楽業界。舞台上も客席も間隔を大きくあけて、プログラムも変更して開催。ライブ配信（メンバーズTVUチャンネル）を本格的にスタート。

16 2020年11月 正指揮者×楽員座談会！楽員からのリクエストで実現。理事長や企画制作部長との対談も。コロナ禍も積極的に発信し続けるマエストロ。

17 秦野出身コンビ。山田和樹＆事務次長、企画・制作部長の益満。

「ともに挑戦しつづけるオーケストラ」とさまざまなプロジェクトをご一緒した10年間。本当にありがとうございました。正指揮者のポジションは離れますが、これからも変わらず、東京定期にもご登場いただきます。そしてプレトークも継続です！本日は新しい山田和樹×日本フィルの歴史の第一歩。これからもよろしくお願いいたします。

# あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ
# 第16回 後藤新平賞 授賞式レポート

写真提供：後藤新平の会

このたび日本フィルは、第16回後藤新平賞を受賞いたしました。受賞にあたっては、日本フィルが東日本大震災の被災地における活動「被災地に音楽を」を継続し、さらにそれが「若い世代への未来への希望を育んでいる」との評価を頂きました。

そして去る7月5日（火）に杉並区の座・高円寺にて授賞式が執り行われました。

当日は後藤新平の会より青山佾明治大学名誉教授をはじめとする選考委員の6名の方々が登壇され、日本フィルからは理事長 平井俊邦が登壇。後藤新平賞本賞、並びに記念の表彰楯とステンドグラス「祈りのシンフォニー」を賜りました。

それにつづいて、理事長平井による受賞者講演が行われ「後藤新平の奉仕の精神と人材育成に対する高い志に通づる」との評価を頂いた「被災地に音楽を」について、当時の映像や写真、被災された方々・演奏に赴いた演奏家の言葉を紹介しながらその活動と理念をお話いたしました。

会場には震災発生後の2011年4月に初めて現地を訪問したメンバーも駆けつけ、受賞の喜びを分かち合いました。

あらためて、後藤新平氏の足跡の下作られた志の高い賞をいただけたこと、また、長年続けてきた日本フィルの被災地支援活動に光を当てていただいたことに深く感謝いたします。また、活動を推進した演奏家をはじめ、支えていただいた皆様、現地でお会いした方々、復興に尽力されている方々にもこの場を借りて御礼申し上げます。

今回の受賞を糧として、日本フィルはこれからも東北地方沿岸部への取り組みを継続して参ります。そして「東北の夢プロジェクト」では東北地方各地の地域や学校で子どもたちが取り組む音楽活動・文化活動を広く紹介することで、子どもたちと地域の未来を応援していきたいと考えています。

今後とも日本フィルの社会への取り組みへのご理解とご協力をいただければ幸いです。

## 後藤新平賞について（同賞プレスリリースより）

【趣旨】

後藤新平は、日本の近代化の過程において、百年先をも見通した時間的・空間的スケールの大きな政策を構想し、「人」を育てながら地域や国家の発展に寄与しました。本賞では、日本の国内外を問わず、現代において、後藤新平のように文明のあり方そのものを思索し、それを新しく方向づける業績を挙げた方を、一年に一度選考し顕彰しています。

【受賞理由】

2011年に発生した東日本大震災の被災地に対しては、復興に向けて全国各地から医療・福祉などさまざまな支援の手がさしのべられています。その中で日本フィルハーモニー交響楽団は「心の復興」を支援しようと、震災発生直後から「被災地に音楽を」のプロジェクトに取り組み、被災地における演奏活動を継続して行ってきました。特に楽団員と地元の青少年との交流は、若い世代の「未来への希望」も育んでいます。11年間に300回を超え、今後も継続されるというこの演奏活動は、後藤新平の奉仕の精神と人材育成に対する高い志に通ずるものとして、本賞を贈呈します。

■主催 後藤新平の会　■後援 読売新聞社 藤原書店

## 記念品

■記念表彰楯

■ステンドグラス「祈りのシンフォニー」

『日本フィルの心温まる多岐にわたる活動を著すため、音楽がもつ「光り」や「祈り」をステンドグラスに表現したいと考え、北の大地で育まれた大樹である「杉」をベースに、演奏者の一人ひとりが紡ぐシンフォニーの響きにつつまれ、音楽の多様な色彩が世界に拡がっていくように表現してみました。』

制作：岸　哲也（ステンドグラス作家）　アートディレクション+台座制作：内田純一（建築・意匠家）
コンセプト+プロデューサー：藤原良雄（後藤新平の会事務局長）

## 活動の記録

【日本フィルの被災地支援】（YouTube再生リスト）
https://youtube.com/playlist?list=PLCI-hzatBEFDSI3Xg5GXb6HPiQkUpL3AS
【被災地レポート】
https://japanphil.or.jp/orchestra/news/4727

日本フィルの被災地支援　被災地レポート

## これまでの訪問回数

316回（2022年9月1日現在）

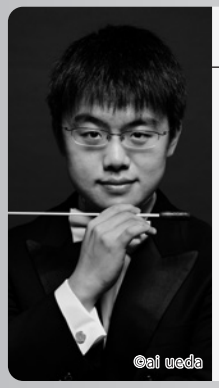
## 今年度の訪問（予定）

2022年6月～7月　宮城県石巻市、岩手県盛岡市、岩手県北上市
2022年8月12日　岩手県盛岡市　東北の夢プロジェクト2022楽しいオーケストラin岩手
2022年10月7～9日　福島県南相馬市　吹奏楽指導・コンサート
2022年10月12日　岩手県宮古市　オーケストラ・キャラバン
2022年11月12日　福島県田村市　コンサート
2023年1月8日　福島県郡山市　東北の夢プロジェクト2022 in福島
ほか、年度末に東京にて事業報告会を予定

人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

# 日本フィルハーモニー交響楽団

# 2022 第九特別演奏会


©ai ueda

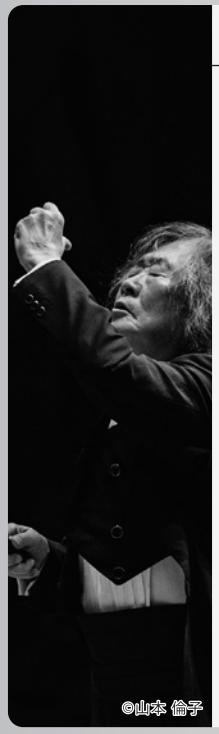
## 指揮：太田 弦

**12/17 土 17:00**
［ 横浜みなとみらいホール ］
【第383回横浜定期演奏会】

**12/18 日 14:00**
［ サントリーホール ］

ベートーヴェン：《エグモント》組曲
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

ソプラノ：盛田 麻央　アルト：杉山 由紀
テノール：樋口 達哉　バリトン：黒田 祐貴
合唱：東京音楽大学（12/17）
日本フィルハーモニー協会合唱団（12/18）


©山本 倫子

## 指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］

**12/22 木 19:00**
［ サントリーホール ］

**12/23 金 19:00**
［ 東京芸術劇場 コンサートホール ］

**12/24 土 14:30**
［ 横浜みなとみらいホール ］

**12/25 日 14:00**
［ 東京芸術劇場 コンサートホール ］

**12/27 火 19:00**
［ 東京芸術劇場 コンサートホール ］

J.S.バッハ（M.デュリュフレ編）：
カンタータ22番より第5曲
「慈しみもて我らを死なせ」
J.S.バッハ：
パストラーレ BWV590より II.アルマンド
J.S.バッハ：
トッカータとフーガ ニ短調BWV565
（以上3曲オルガン独奏）
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

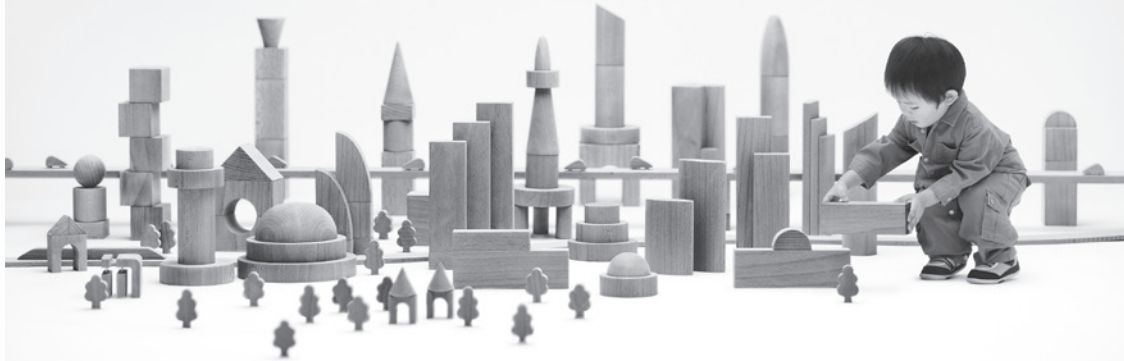
オルガン：石丸 由佳
ソプラノ：小川 栞奈（12/22～24）／市原 愛（12/25、27）
アルト：山下 牧子
テノール：錦織 健（12/22～24）／笛田 博昭（12/25、27）
バリトン：大沼 徹（12/22～23）／青戸 知（12/24）
青山 貴（12/25、27）
合唱：東京音楽大学（12/22、23）
武蔵野合唱団（12/24）
日本フィルハーモニー協会合唱団（12/25、27）

| 料金 | S ¥9,000　A ¥7,500　B ¥7,000　C ¥6,000<br>Ys（25歳以下）¥3,500　Gs（65歳以上）¥6,000（12/17除く） | 12/18～27公演：9月16日（金）発売<br>12/17公演（第383回横浜定期演奏会）：好評発売中 |
|---|---|---|

お申込み　日本フィル・サービスセンター　TEL：03-5378-5911（平日11時-17時）　FAX：03-5378-6161（24時間）
日本フィルeチケット♪　www.japanphil.or.jp




想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
鹿島

あれもこれも、で
いい街にしよう。

たとえば、伝統と革新。都市と自然。
経済と文化。住む人と働く人。
あれかこれか、ではなく、あれもこれも。
私たち三井不動産は、
異なる概念やさまざまな人を結びつけて、
イノベーションや挑戦、
驚きや希望や愛といった、
新しい価値を次々と街に生み出していきたい。
そして街に集う人たちと一緒に、
その先の日常をつくっていきたい。
街は人とともに。
三井不動産の「&」の街づくりは続きます。

三井不動産
MITSUI FUDOSAN

最高級のアコースティックを誇る

# 杉並公会堂
Suginami Koukaidou

日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。

日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より

春休みオーケストラ探検より
楽器体験

公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
http://www.suginamikoukaidou.com/
※運営会社：(株)京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、
心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人とが繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力ももちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。
しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたいと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長　平井 俊邦

**■お振込みでのご寄付**

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額　を
メール donation@japanphil.or.jp まで
お知らせください。

【お振込先口座】
三菱UFJ銀行　高円寺支店（支店コード：155）
普通預金　0242402
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

**■オンライン寄付**

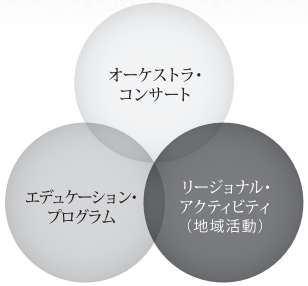
日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。
右のQRコードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

# 感動の共有
# 日本フィルハーモニー交響楽団

## 文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《リージョナル・アクティビティ》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。




今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。（敬称略）

パトロネージュ　匿名2名

### 存続の危機にある日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。詳しくは左のページをご覧ください。

### パトロネージュ［個人寄付会員］

プログラム誌へのご芳名掲載や様々な特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
**年会費：3万円／5万円／12万円／20万円／50万円／100万円**

### 日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、
主催公演チケット優先受付・優待（1割引）など様々な特典があります。
**年会費：1万円**

### 特別会員［法人寄付］

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

### 遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

**お問い合わせ：日本フィル事務所　TEL03-5378-6311（10-18時、土日祝日休）**

# 日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名

株式会社IDホールディングス
代表取締役社長 舩越 真樹
株式会社アイレ 代表取締役社長 荒江 健
アイング株式会社 代表取締役会長 飯嶋 庸夫
赤坂維新號 代表取締役社長 鄭 東静
あすか製薬株式会社 代表取締役社長 山口 惣大
株式会社アトックス 代表取締役 矢口 敏和
株式会社アドービジネスコンサルタント
代表取締役社長 池田 昭司
株式会社アール&キャリア
代表取締役社長 飯嶋 一晃
イーソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木経世
株式会社泉商会 代表取締役社長 八方 淑夫
株式会社泉放送制作 代表取締役社長 日下部恵一
磯野不動産株式会社 代表取締役社長 磯野 計一
稲畑産業株式会社 相談役 稲畑 勝雄
株式会社インフォマート 代表取締役社長 中島 健
株式会社内田洋行 代表取締役社長 大久保 昇
内野株式会社 代表取締役社長 内野 信行
宇部エクシモ株式会社 代表取締役社長 古賀 源二
株式会社ＡＩＴ 代表取締役社長 大熊 克美
株式会社エイブル＆パートナーズ
代表取締役会長兼社長 佐藤 茂
株式会社エヌエフホールディングス
代表取締役会長 高橋 常夫
NGB株式会社 代表取締役社長 宮﨑 潔
エヌビーエス株式会社 代表取締役会長 飯嶋 一晃
株式会社エルイーテック 代表取締役社長 坂田 洋一
エレコム株式会社 代表取締役会長 葉田 順治
大隅ミート産業株式会社 代表取締役社長 小森 浩一
株式会社大場造園 代表取締役社長 大場 二郎
株式会社岡三証券グループ 取締役会長 加藤 哲夫

小川香料株式会社 代表取締役社長 小川 裕
公益財団法人オリックス宮内財団
代表理事 宮内 義彦
株式会社カカクコム 代表取締役社長 畑 彰之介
鹿島建設株式会社 代表取締役会長 押味 至一
鹿島建物総合管理株式会社
代表取締役社長 山本 和雄
鹿島道路株式会社 代表取締役社長 吉田 英信
株式会社カナック企画 代表取締役 金子高一郎
株式会社ガモウ 代表取締役 蒲生 茂
社会医療法人河北医療財団 理事長 河北 博文
川北電気工業株式会社 取締役社長 大津 正己
北野建設株式会社 代表取締役会長兼社長 北野 貴裕
キッコーマン株式会社
取締役名誉会長取締役会議長 茂木友三郎
キヤノン株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗冨士夫
キユーピー株式会社
代表取締役 社長執行役員 長南 収
株式会社協和日成 代表取締役社長 川野 茂
キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長 磯崎 功典
株式会社きんでん 取締役社長 上坂 隆勇
株式会社九曜社 代表取締役社長 望月 耕次
グリーン・サポート・システムズ株式会社
代表取締役 笛木 彰
グローブシップ株式会社 代表取締役社長 矢口 敏和
株式会社京王設備サービス 取締役社長 浅野 義行
京王電鉄株式会社
代表取締役社長社長執行役員 都村 智史
京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 川俣 幸宏
株式会社小泉 代表取締役社長 長坂 剛
株式会社興建社 代表取締役社長 水島 隆明



コーザイ株式会社 代表取締役 貝沼 信和
株式会社講談社 代表取締役社長 野間 省伸
株式会社コバヤシ 代表取締役 小林 達夫
コンパッソ税理士法人 代表社員 内川 清雄
株式会社コトブキ 代表取締役社長 深澤 幸郎
株式会社コンサートサービス 代表取締役 佐藤 修悦
佐藤製薬株式会社 代表取締役社長 佐藤 誠一
三機工業株式会社 特別顧問 梶浦 卓一
山九株式会社 代表取締役社長 中村 公大
サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長 新浪 剛史
三洋貿易株式会社 代表取締役社長 新谷 正伸
ジーエルサイエンス株式会社 取締役社長 長見 善博
ジェネロ株式会社 代表取締役 竹内 大志
株式会社慈恵実業 代表取締役社長 石塚 雄三
澁谷工業株式会社 取締役社長 澁谷 英利
株式会社じほう 代表取締役会長 武田正一郎
清水建設株式会社 代表取締役社長 井上 和幸
株式会社集英社 代表取締役社長 廣野 眞一
昭和電工ガスプロダクツ株式会社
代表取締役社長 平倉 一夫
昭和電工株式会社 代表取締役会長 森川 宏平
ショーボンドホールディングス株式会社
代表取締役社長 岸本 達也
新菱冷熱工業株式会社 代表取締役社長 加賀美 猛
株式会社ジャックス 代表取締役社長 村上 亮
株式会社ジンテック 代表取締役 柳 秀樹
株式会社杉江商店 代表取締役 杉江 寛
杉山商事株式会社 取締役社長 杉山 健
住友ベークライト株式会社 代表取締役社長 藤原 一彦
株式会社スプリックス 代表取締役社長 常石 博之
全国保証株式会社 代表取締役社長 石川 英治

第一倉庫株式会社 会長 小泉 駿一
株式会社泰秀 代表取締役社長 野口 通子
大正製薬株式会社 取締役会長 上原 明
大同生命保険株式会社 代表取締役社長 北原 睦朗
大日本除虫菊株式会社 代表取締役社長 上山 直英
大日本塗料株式会社 代表取締役社長 里 隆幸
大和製罐株式会社 代表取締役社長 山口 裕久
高砂熱学工業株式会社
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人
千歳コーポレーション株式会社
取締役社長 森岡 寛司
千代田化工建設株式会社
代表取締役会長 兼 社長 榊田 雅和
株式会社千代田テクノル 代表取締役会長 細田 敏和
塚本總業株式会社 代表取締役社長 塚本 素清
ディアンドデパートメント株式会社
代表取締役社長 松添みつこ
株式会社ティーガイア 代表取締役社長 石田 將人
学校法人帝京大学 理事長 冲永 佳史
THK株式会社 代表取締役社長 寺町 彰博
ＴＩＳ株式会社 代表取締役社長 岡本 安史
株式会社電通 代表取締役 社長執行役員 榑谷 典洋
東亜建設工業株式会社 代表取締役社長 早川 毅
株式会社東急コミュニティー 取締役社長 木村 昌平
東京海上日動火災保険株式会社
取締役社長 広瀬 伸一
株式会社東京交通会館 代表取締役社長 興野 敦郎
東京都杉並区 区長 岸本 聡子
東京美装興業株式会社 代表取締役社長 八木 秀記
東洋熱工業株式会社 代表取締役社長 谷口 昌伸
戸田建設株式会社 代表取締役会長 今井 雅則
トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長 豊田 章男
株式会社永田音響設計 代表取締役社長 小口 恵司

株式会社永谷園ホールディングス
代表取締役会長 永谷栄一郎
株式会社ナミキ 代表取締役会長兼社長 並木 洋一
日総工産株式会社
代表取締役社長執行役員 兼 CEO 清水 竜一
日鉄興和不動産株式会社 代表取締役社長 今泉 泰彦
株式会社ニフコ 代表取締役会長 山本 利行
日本精工株式会社 取締役会長 内山 俊弘
日本製鉄株式会社 代表取締役社長 橋本 英二
日本電子株式会社 代表取締役会長 兼 CEO 栗原権右衛門
日本パーカライジング株式会社
株式会社日本マイクロニクス
代表取締役社長 長谷川正義
株式会社ネイチャーズウェイ
代表取締役社長 萩原 吉晃
根本特殊化学株式会社 代表取締役社長 根本美恵子
野村ホールディングス株式会社
代表執行役社長 グループCEO 奥田健太郎
パイオニア株式会社
代表取締役兼社長執行役員 矢原 史朗
ハウス食品グループ本社株式会社
代表取締役社長 浦上 博史
株式会社博報堂 代表取締役社長 水島 正幸
ハナマルキ株式会社 代表取締役社長 花岡 俊夫
パンパシフィック・カッパー株式会社
代表取締役社長 堀 一浩
阪和興業株式会社 代表取締役社長 中川 洋一
東日本住宅株式会社 代表取締役 桃野 直樹
非破壊検査株式会社 代表取締役社長 山口多賀幸
ひびき・パース・アドバイザーズ
代表取締役社長 清水 雄也
富国生命保険相互会社 代表取締役社長 米山 好映
富士急行株式会社 代表取締役社長 堀内光一郎

富士テレコム株式会社 代表取締役社長 西田 孝一
一般財団法人 藤本育英財団 理事長 藤本由紀子
古河産業株式会社 代表取締役社長 横田 敦彦
合同会社ベルファーマシー 代表社員 前島 景子
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
ホッカンホールディングス株式会社
代表取締役社長 池田 孝資
株式会社ポニーキャニオン
代表取締役社長 吉村 隆
本田技研工業株式会社
取締役 代表執行役社長 三部 敏宏
株式会社牧野フライス製作所
取締役社長 宮崎正太郎
マネックスグループ株式会社
代表執行役 松本 大
株式会社丸井グループ 代表取締役社長 青井 浩
株式会社丸の内よろず 取締役社長 中村 正博
丸美屋食品工業株式会社 代表取締役社長 阿部豊太郎
三井情報株式会社 代表取締役社長執行役員 浅野 謙吾
株式会社三井住友銀行 頭取CEO 髙島 誠
三井製糖株式会社 代表取締役社長 森本 卓
三井倉庫ホールディングス株式会社
代表取締役社長 古賀 博文
三井物産株式会社 代表取締役社長 堀 健一
三井不動産株式会社 代表取締役社長 菰田 正信
株式会社三越伊勢丹アイムファシリティーズ
代表取締役会長 飯嶋 庸夫
株式会社三越伊勢丹ホールディングス
特別顧問 石塚 邦雄
三菱HCキャピタル株式会社
代表取締役 社長執行役員 柳井 隆博
三菱オートリース株式会社
代表取締役社長 中野 智

三菱ガス化学株式会社 代表取締役社長 藤井 政志
三菱地所株式会社 執行役社長 吉田 淳一
三菱自動車工業株式会社
取締役代表執行役社長 兼 最高経営責任者 加藤 隆雄
三菱重工業株式会社 取締役社長 泉澤 清次
三菱倉庫株式会社 相談役 宮崎 毅
株式会社三菱UFJ銀行 頭取 半沢 淳一
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
取締役社長 兼 グローバルCEO 小林 真
武蔵商事株式会社 代表取締役 宇田川紀通
明治安田生命保険相互会社
取締役代表執行役社長 永島 英器
株式会社明和住販流通センター
代表取締役 塩見 紀昭
メッドサポートシステムズ株式会社
代表取締役社長 大徳 眞一
株式会社メディアグラフィックス
代表取締役社長 水野 憲一
株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長 牧 寛之
森社会保険労務士事務所 所長 森 康之
株式会社ヤクルト本社 相談役名誉会長 堀 澄也
山崎製パン株式会社
ヤマトホールディングス株式会社
取締役 神田 晴夫
UBE株式会社 取締役会長 山本 謙
ユウキフーヅシステム株式会社
取締役相談役 田中 晃
横河電機株式会社
米持建設株式会社 代表取締役 米持 大介
株式会社リガク 取締役会長 志村 晶
株式会社リョーサン
代表取締役社長執行役員 稲葉 和彦

株式会社Rings 代表取締役 矢部 和広
株式会社リンレイ 代表取締役社長 鈴木 信也
株式会社LABCO 代表取締役 高津 昌広
株式会社LEOC 代表取締役会長兼社長 小野寺裕司
ローム株式会社
代表取締役社長 社長執行役員 松本 功

匿名5名

（2022年8月1日現在・50音順・敬称略）

# パトロネージュご芳名

会田　雅美　東京都
浅野　純次　埼玉県
朝吹　英和　東京都
厚田　理郎　東京都
阿部　俊彰　神奈川県
荒井　昇　東京都
荒木　秀隆　東京都
荒蒔康一郎　東京都
有江　純子　神奈川県
有手　千麻　埼玉県
飯田　桂子　東京都
飯田　惠司　東京都
飯田　憲　東京都
家近　茂　東京都
家近　信子　東京都
五十嵐重雄　東京都
池浦　慧　東京都
池田　博　東京都
池野　隆光　東京都
池谷　光司　東京都
伊佐山建志　東京都
石澤　卓志　千葉県
石塚　邦雄　東京都
石橋　秀雄　神奈川県
伊藤　貴博　東京都
伊東　宏恭　神奈川県
伊藤　昌司　東京都
稲葉　治樹　茨城県
稲葉　好正　東京都
犬塚　静衞　東京都
井上　俊信　埼玉県
井上　直人　東京都
井上　浩良　東京都
岩瀬　順子　神奈川県
岩田　達明　静岡県
上野悦子・陽子　東京都
宇賀神裕子　神奈川県
臼井　潤　東京都
内村　恒彦　神奈川県
江口　和廣　東京都
江口　麗子　東京都
遠藤　滋　神奈川県
大石　直輝　山梨県
大熊美結紀　東京都
大島　剛　埼玉県
大竹　広明　神奈川県
太田　五郎　神奈川県
太田　達男　千葉県
大塚　宣夫　東京都

大藤　裕康　埼玉県
大森　京太　東京都
岡本　晋　東京都
岡田　尚子　埼玉県
岡田　雅史　神奈川県
奥林　群司　東京都
奥山　敦子　東京都
尾澤　弘久　神奈川県
尾上　洋子　東京都
小野寺けい子　岩手県
小野寺健一　岩手県
小幡　尚孝　東京都
小原　道生　東京都
折田　正樹　東京都
風間　沙織　神奈川県
賀澤　裕三　福島県
鹿島　英裕　東京都
片貝　英重　東京都
片山　英二　東京都
桂　史子　東京都
加藤　壹康　静岡県
加藤　丈夫　東京都
加藤ひろみ　東京都
加藤　洋一　東京都
加藤　頼宣　東京都
金子　修　埼玉県
金子　肇　千葉県
上條　貞夫　東京都
上條　淑子　東京都
香山　和子　神奈川県
川合　孝一　千葉県
川畑　雅義　東京都
河田　義宏　東京都
菅野　治幸　神奈川県
菊池　和美　東京都
喜多垣久江　東京都
北村　篤嗣　埼玉県
北村　裕　神奈川県
木村　惠司　神奈川県
草刈　隆郎　東京都
久野　哲男　千葉県
熊谷　朝子　東京都
倉谷　宏樹　東京都
栗原真知子　埼玉県
畔柳　信雄　東京都
甲賀　一宏　埼玉県
好士﨑稔子　東京都
胡口　靖夫　東京都
児玉　敏宏　東京都

児玉　玲子　東京都
小林こずえ　東京都
小林　裕美　東京都
小林　容子　東京都
駒見　俊彦　東京都
五味　康昌　神奈川県
酒井　和夫　神奈川県
酒井　伸　長野県
酒巻　英俊　東京都
定形　哲　神奈川県
佐藤　武男　東京都
佐藤　寛之　東京都
佐藤　正昭　東京都
座間　淑美　神奈川県
柴田　栄一　東京都
島田　精一　東京都
島田　敏生　神奈川県
島田　晴雄　東京都
清水　久子　東京都
清水　幸雄　千葉県
下河辺美知子　東京都
下田　英一　東京都
生島　貴司　千葉県
新庄真帆子　大阪府
晋友会合唱団　東京都
菅　千太郎　東京都
杉山　秀子　東京都
杉山　浩明　東京都
鈴木　昌子　神奈川県
鈴木　庸夫　東京都
鈴木　祐二　東京都
住野　公一　東京都
関　兼英　東京都
妹尾　絲子　東京都
仙石　通泰　東京都
宗　神子　大分県
染野　郁郎　東京都
高井　延幸　神奈川県
高木　宏忠　東京都
高須　幸雄　東京都
高田　信子　東京都
高橋　信喜　東京都
武岡　哲郎　東京都
竹下　道夫　東京都
竹中富知男　東京都
田中稀一郎　東京都
田中　宏征　兵庫県
田仲　博幸　東京都
田中　將介　神奈川県

田辺三基男　東京都
田村　一　山梨県
田村　浩章　東京都
塚本　和久　東京都
塚本　美幸　東京都
辻　雅夫　東京都
蔦井　厚伸　東京都
津田　義久　東京都
常石　博之　東京都
角田　峻一　東京都
坪井　和音　東京都
積田　孝一　東京都
d日本フィルの会
寺澤　佳代　東京都
東京フロイデ合唱団
東京都
時枝　直満　東京都
徳田　俊一　東京都
徳田　陽一　東京都
外山　雄三　東京都
中尾　誠利　神奈川県
ナガオカケンメイ　東京都
中島　奈穂　東京都
中島美知子　東京都
長瀬　雅則　東京都
中園　和博　東京都
仲田　喜義　東京都
中西　泉　東京都
永野　明宏　千葉県
永野　琢夫　東京都
中村　公一　東京都
中村　禎良　東京都
中本　逸郎　東京都
那須　雄治　東京都
棗　年紀・綾　東京都
新倉　啓介　東京都
西澤　豊　東京都
西村　敬子　京都府
西村　醇子　神奈川県
日本フィルハーモニー
協会所沢支部
埼玉県
二村　英之　東京都
沼口　元彦　東京都
根本　直之　千葉県
野谷　文昭　東京都
箱崎　一彦　千葉県
蓮見　正純　東京都
羽田　洋子　神奈川県

濱田　尚人　東京都
林　一郎　東京都
原　宏輔　東京都
原　俊　千葉県
針谷　博史　東京都
平井　邦子　神奈川県
平田　邦夫　神奈川県
平田　正　神奈川県
平林　直哉　東京都
広瀬　勝貞　大分県
広瀬　晴子　神奈川県
深沢　茂実　神奈川県
福井　英次　東京都
福田　昭夫　東京都
藤井　裕一　東京都
藤沢　薫　東京都
藤本由紀子　東京都
藤原　真也　東京都
古瀬　明弘　東京都
星　桂太朗　東京都
本田　博　熊本県
前田　耿史　神奈川県
前田圭一郎　千葉県
牧野　澄夫　東京都
正木　信汎　東京都
増田　文彦　神奈川県
松尾　東京都
松田　孝裕　埼玉県
松田　譲　東京都
松本　信義　東京都
三木恵美子　神奈川県
三木　繁光　東京都
峯島　茂之　東京都
宮川　輝男　千葉県
宮本　裕二　兵庫県
武藤　雄二　埼玉県
村上　純子　埼玉県
村上　洋美　東京都
村上　泰郎　東京都
持田　泰　東京都
元永　徹司　神奈川県
森　稔樹　神奈川県
森　宏之　神奈川県
森川　智之　神奈川県
八木　一郎　山梨県
矢口　敏和　千葉県
矢倉　俊紀　東京都
八代　元行　東京都
柳田　淑　神奈川県

谷野　剛　東京都
山上　典彦　東京都
山口　幸子　東京都
山口　仁栄　東京都
山口　達之　長崎県
山口みどり　東京都
山越　章弘　長野県
山下　芳広　北海道
山田　敏之　神奈川県
山田　宏己　東京都
山村　隆　東京都
山村　美絵　東京都
山本　高稔　東京都
油井　直次　東京都
横川　直　東京都
吉川　美保　東京都
吉谷恵美子　神奈川県
吉村　真幸　埼玉県
吉村　匡則　東京都
渡辺　敦郎　東京都
渡辺　和子　東京都
渡邉規久雄　東京都
渡邉　直　東京都
渡邉　裕志　山口県
F.H.
M.K.
匿名64名

（2022年8月10日現在
50音順・敬称略）

# Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

https://members.tvuch.com

Member's TVU CHANNELは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。
日本フィルの配信は1,000円で3ヵ月間何度でもご視聴いただけます（販売期間は6ヶ月です）。

**まずはID登録！ メールアドレスとパスワードのみで簡単！**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 3月11日 | さいたま定期演奏会 | 指揮:鈴木 優人 | ピアノ:松田 華音 |
| ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第4番　チャイコフスキー:《悲愴》 | | | |
| 4月1日 | 東京定期演奏会 | 指揮:小林 研一郎 | |
| シューマン:交響曲第4番　ブラームス:交響曲第4番 | | | |
| 4月17日 | 名曲コンサート | 指揮:ピエタリ・インキネン | |
| ベートーヴェン:交響曲第6番、第5番 | | | |
| 4月23日 | 横浜定期演奏会 | 指揮:ピエタリ・インキネン | |
| シベリウス:《エン・サガ》、ベートーヴェン:交響曲第2番、第4番 | | | |
| 5月14日 | 横浜定期演奏会 | 指揮:カーチュン・ウォン | ヴァイオリン:南 紫音 |
| シベリウス:ヴァイオリン協奏曲、ドヴォルジャーク:交響曲第7番 他 | | | |
| 5月28日 | 東京定期演奏会 | 指揮:カーチュン・ウォン | ピアノ:務川 慧悟 |
| 伊福部昭:リトミカ・オスティナータ、マーラー:交響曲第4番（ソプラノ:三宅 理恵） | | | |
| 6月18日 | 東京定期演奏会 | 指揮:秋山 和慶 | ピアノ:小川 典子 |
| ラヴェル:ピアノ協奏曲、《ダフニスとクロエ》第2組曲 | | | |
| 7月1日 | さいたま定期演奏会 | 指揮:鈴木 優人 | ピアノ:小林 愛実 |
| ショパン:ピアノ協奏曲 他 | | | |
| 7月2日 | 横浜定期演奏会 | 指揮:広上 淳一 | ピアノ:福間 洸太朗 |
| ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第4番、《田園》 | | | |
| 7月9日 | 東京定期演奏会 | 指揮:広上 淳一 | ヴァイオリン:米元 響子 |
| ブルッフ:スコットランド幻想曲　ブルックナー:交響曲第7番 | | | |
| 9月3日 | 東京定期演奏会 | 指揮:山田 和樹 | ヴァイオリン:田野倉 雅秋 |
| 貴志康一:ヴァイオリン協奏曲　ウォルトン:交響曲第1番 | | | |



# ◆ 新入団員紹介 ◆

新入団員に11の質問！

トランペット

## 大西 敏幸 ONISHI Toshiyuki

トランペット・セクションに新たに入団いたしました大西敏幸をご紹介いたします。

| | |
|---|---|
| ❶ 誕生日 | 12月29日 |
| ❷ 私はこんな人 | マイペース |
| ❸ 楽器を始めたきっかけ | 中学校での吹奏楽部 |
| ❹ 音楽家になっていなかったら？ | パイロットになりたい |
| ❺ 時間があったら何をしたい？ | 山に行きます |
| ❻ リラックス方法は？ | 登山と瞑想 |
| ❼ 好きな映画を教えてください | CODA コーダ あいのうた |
| ❽ 座右の銘があれば | 3日坊主だっていい |
| ❾ 日本フィルに入団が決まった瞬間の気持ちを一言で | ありがとう（応援してくれた仲間に） |
| ❿ ずばり、今のところ日本フィルはこんなオケだと思う | 明るく輝かしい音色のオーケストラ |

⓫ 最後にお客様へのメッセージをお願いいたします

これから日本フィルの一員として演奏していくのが楽しみです。
応援よろしくお願いします！

## 「5分でわかる!大人のためのオーケストラ入門」シリーズの続編!

サントリーホールで年10回開催される日本フィルの東京定期演奏会は、9月が新シーズンのオープニング。なぜ今このプログラム?知らない曲でも楽しめる?・・映画プロデューサー村上典吏子の素朴な疑問に、クラシック音楽界、そして日本フィルを知り尽くす音楽評論家・奥田佳道※がお答えします。作品にこめられた愛情やその背景、注目の楽員など、演奏会の前に知れば楽しみが倍増!する情報をお届けします。一見難しそうに見える定期演奏会をいかに楽しむか!そんな企画をご案内いたします。

*奥田佳道:ヴァイオリン、ドイツ文学、西洋音楽史を学ぶ。ウィーンに留学。「音楽の友」などに寄稿するほか、数々の音楽番組に出演。NHK「音楽の泉」、ラジオ深夜便「クラシックの遺伝子」に出演中。著書に「これがヴァイオリンの銘器だ!」他。朝日カルチャーセンター新宿、中之島、北九州各講師。

日本フィルハーモニー交響楽団【公式】YouTubeで公開します!
※配信スケジュールは変更になる可能性がございます。ホームページでご確認ください。チャンネル登録お願いします!
※「再生リスト」に新シリーズをまとめていく予定です。
https://www.youtube.com/user/JapanphilMovie/videos

### 9月東京定期演奏会 ── 公開中!

シーズンオープニングは、第2次世界大戦前夜の1935年に日本、イギリスで作られた作品を、山田和樹が豪華なオーケストラの響きで飾ります。

### 10月東京定期演奏会 ── 9月中旬配信予定!

首席指揮者ピエタリ・インキネンのベートーヴェン!東京定期演奏会ならではの楽しみ方をご案内いたします。

### 「5分でわかる!大人のためのオーケストラ入門」導入編、全6回はこちらから

https://youtube.com/playlist?list=PLCI-hzatBEFATIyIhxs0XHqEj9BamxMXJ

さらに日本フィルの定期演奏会を楽しみたい方のために

### 朝日カルチャーセンター新宿教室 連携企画

「知れば知るほど面白い、日本フィル定期演奏会」スタート!
日本フィル東京定期演奏会の毎月のプログラムについて、音楽的魅力にとどまらず、歴史的背景やほかの文化的要素とからめてご案内します。講師:奥田佳道
■第2回　10月20日(木)　15:30〜17:00　オンライン受講あり!



日本フィル横浜定期50周年 横浜カルチュラルワンダーランド

## 日本フィルの横浜定期演奏会はまもなく50周年

リニューアルした横浜みなとみらいホールで再始動!※2022年11月より
もっと楽しく、もっと面白く、より深く!<横浜カルチュラル・ワンダーランド>をコンセプトに、歴史、美術、文学・・・文化と音楽が響き合う新しいコンサートの楽しみ方を発信いたします。コンセプト監修に横浜国立大学教授の小宮正安氏を迎え、知れば知るほど楽しい時間をお届けしてまいります。

**朝日カルチャーセンター横浜教室で関連講座開催「社会文化史から読み解く」**
講師:小宮 正安(横浜国立大学教授)、日本フィル楽員 他
第1弾:9月17日(土)13:00〜14:30※7/17より延期 「受難」と「舞踏」のシンフォニー
第2弾:10月10日(月・祝)15:00〜16:30 「芸術家の憧れ」の交響楽

◆ 秋季 ◆

**第380回　2022年9月22日(木)19:00開演**
神奈川県民ホール
指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者]　ヴァイオリン:周防 亮介
チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲／交響曲第6番《悲愴》

**第381回　2022年10月1日(土)17:00開演**
神奈川県民ホール
指揮:藤岡 幸夫　ヴァイオリン:髙木 凜々子
ヴィヴァルディ:ヴァイオリン協奏曲集《四季》
ベートーヴェン:交響曲第7番

**第382回　2022年11月26日(土)17:00開演**
横浜みなとみらいホール
指揮:アレクサンドル・ラザレフ[桂冠指揮者兼芸術顧問]
児童合唱:調整中
チャイコフスキー:バレエ音楽《くるみ割り人形》

**第383回　2022年12月17日(土)17:00開演**
横浜みなとみらいホール
指揮:太田 弦　ソプラノ:盛田 麻央　アルト:杉山 由紀
テノール:樋口 達哉　バリトン:黒田 祐貴　合唱:東京音楽大学
ベートーヴェン:エグモント序曲／交響曲第9番《合唱》

**第384回　2023年1月28日(土)17:00開演**
横浜みなとみらいホール
指揮:カーチュン・ウォン[首席客演指揮者]　ピアノ:小菅 優
ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第3番／交響曲第2番

◆ 春季 ◆

**第385回　2023年3月11日(土)17:00開演**
横浜みなとみらいホール
指揮:藤岡 幸夫　サクソフォン:須川 展也
菅野祐悟:サクソフォン協奏曲《Mystic Forest》
チャイコフスキー:交響曲第4番

**第386回　2023年4月22日(土)17:00開演**
横浜みなとみらいホール
指揮:原田 慶太楼　チェロ:ジョヴァンニ・ソッリマ
ドヴォルジャーク:チェロ協奏曲
吉松隆:交響曲第6番《鳥と天使たち》

**第387回　2023年5月20日(土)17:00開演**
横浜みなとみらいホール
指揮:ピエタリ・インキネン[首席指揮者]　ソプラノ:森谷 真理
アルト:池田 香織　テノール:宮里 直樹　バリトン:大西 宇宙
シベリウス:交響詩《タピオラ》　ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》

**第388回　2023年6月3日(土)17:00開演**
横浜みなとみらいホール
指揮:アレクサンドル・ラザレフ[桂冠指揮者兼芸術顧問]
ピアノ:小山 実稚恵
プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第3番
ショスタコーヴィチ:交響曲第7番《レニングラード》

**第389回　2023年7月1日(土)17:00開演**
横浜みなとみらいホール
指揮:川瀬 賢太郎　ピアノ:菊池 洋子
モーツァルト:ピアノ協奏曲第25番
ストラヴィンスキー:バレエ音楽《春の祭典》 他

**年間定期会員券(全10回)**　発売日　好評発売中
S席 ¥48,000　A席 ¥38,000　B席 ¥35,000　C席 ¥30,000　P席 ¥24,000　Ys席 ¥13,000

**半季定期会員券(全5回)**　発売日　【秋季】好評発売中
【秋季】 S席 ¥26,000　A席 ¥21,000　B席 ¥19,000　C席 ¥16,000　P席 ¥13,000　Ys席 ¥7,000

**1回券**　発売日　【秋季】好評発売中【春季】2022年12月23日(金)
12月&5月を除く　S席 ¥8,000　A席 ¥6,500　B席 ¥6,000　C席 ¥5,000　P席 ¥4,000　Ys席 ¥1,500
12月&5月　S席 ¥9,000　A席 ¥7,500　B席 ¥7,000　C席 ¥6,000　P席 ¥5,000　Ys席 ¥3,500

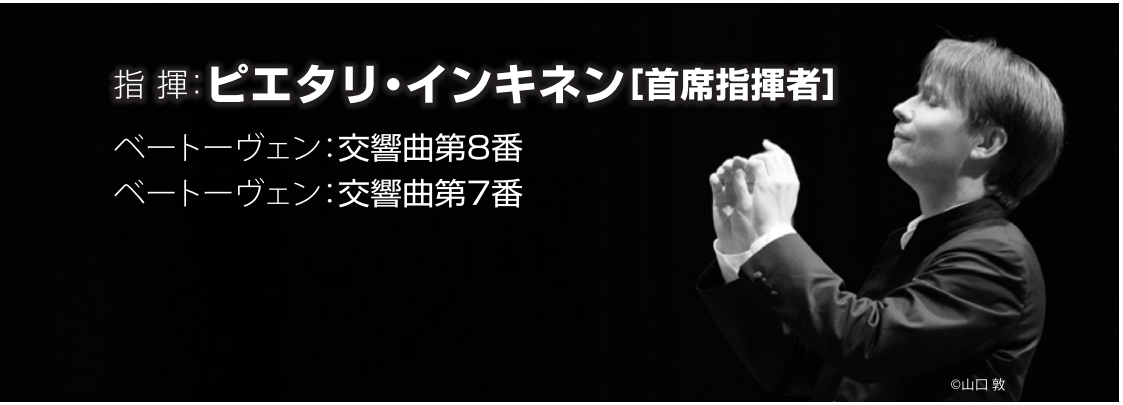
NEXT CONCERTS
〉〉次回東京定期演奏会

# 第744回

サントリーホール

2022年10月21日(金)19:00開演
22日(土)14:00開演 プレトーク 13:20〜

## インキネンによる「ロック」で「雅」な ベートーヴェンの7番と8番




| 1回券料金 | S ¥8,000 | A ¥6,500 | B ¥6,000 | C 完売 | P ¥4,000 | Ys (25歳以下) ¥1,500 |
|---|---|---|---|---|---|---|

※障害者手帳をお持ちの方は割引きがございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

## 次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

聞き手　高坂 はる香

**—コロナの影響で中断されていたベートーヴェン・ツィクルスが4月に再開されました。**

たくさんのお客様をホールに迎えてコンサートができたことに安心しました。オーケストラも方法を見つけて少しずつ進んできたわけですが、一方で人類がまた戦争を始めた事実にはショックを感じます。それでも、音楽には人々をひとつにする力があることは変わりません。コンサートホールにはいつも何か希望があります。ベートーヴェンの偉大な音楽を前にすると、我々人類がいかに小さな存在か思い知ります。

**—綿密なリハーサルをして本番に臨まれたようですね。**

はい、作品にはいろいろなアプローチがありますからね。みんながよく知っている作品は、オーケストラも一度リハーサルをすれば普通の水準の演奏ができます。でもそれで良しとするなら、その作品を何度も取り上げる意味はありません。なぜわざわざ繰り返し演奏するのか、その理由を見つけなくてはなりません。ルーティンの演奏は、私にとってなにもおもしろくないのです。

よくオーケストラに言うのは、"初めて演奏する時のようにというのは不可能だろうけれど、これが最後の機会かもしれないと思って演奏してほしい"ということ。それが唯一、聴衆に初演時並みのフレッシュさで音楽を届けられる方法だと思っています。

カーレースでいうなら、コーナーのぎりぎりをハイスピードで走っていくほうが、たとえコースアウトしたとしても、安全運転よりずっと良い。リスクをとらなくては優勝できません。もちろん音楽は競争ではないけれど。

今度の10月の定期演奏会でも、私はそういうアプローチをすると思います。

**—次回の公演では交響曲第7番と第8番を取り上げます。作品にどんな印象がありますか?**

「田園」のあと何がくるのだろうと思うところに、ベートーヴェンらしく、大きな驚きを与えてくれますよね。第7番はリズムからとめどないパワーが溢れ、それは「春の祭典」と並ぶレベルです。緩徐の楽章にはシンプルさの力を感じます。オスティナートとオーケストレーションの効果で遠くにステップを進めてゆく、そのさまに毎回心を動かされます。

続く第8番は、そんな第7番のあとに人々が想像したどんな音楽とも違うものでした。すべての過去についてのジョークのようなものを感じます。彼が一体どういう決断のもと第8番のような作品を書いたのか、考えるほど興味が湧いてきます。

美しいゆったりとした楽章では意表をつく音楽が現れ、ユーモアにあふれています。終楽章はがっしりとしていて、調性の面でも驚きが散りばめられています。

その次にあのマンモスのような第9番が書かれるわけですから、結果的には大きなコントラストが生まれました。

**—第７番は幅広い層に人気です。何が人々を魅了するのでしょうか?**

リズムの運びの要因は大きいでしょうね。興奮が伝播しやすい音楽です。初演のときにも聴衆から大きな反応があり、アンコールが求められたといいます。当時の映像が残っていたらいいのにと思います。ベートーヴェンはこうした場には当時の最高の演奏家を集めていましたから、彼らが一体どんな演奏をしていたのか、そもそも、当時のコンディションの楽譜を見てする演奏がどんなものだったのか、またベートーヴェン自身、耳が聴こえない状態でどんなふうに指揮をしていたのかも見られたらおもしろいですね。タイムマシーンがあったらいいのになと思いますよ。

**—この夏にはついにバイロイトでワーグナーの《指環》４部作を指揮されます。**

※7月末にインキネンは新型コロナウイルスに感染したため2022年夏の指揮は大変残念ながら降板いたしました。バイロイト音楽祭事務局は「来年のピエタリ・インキネン指揮による《指環》を楽しみにしたい」と発表しています。

そうですね、これらの作品については、少しずつものを理解しながら、人生の間ずっと準備しているようなところがありますけれど。

バイロイトは特別な場所です。昨夏一度経験しましたが、造りがとてもユニークで、音響は他のどんな場所とも異なります。最近はリハーサルを重ね、できるだけ長い時間をそこで過ごそうとしています。

ティーレマンがよく、バイロイトで指揮をするには耳のスイッチが必要で、いつもの耳をどこかにやって、バイロイト耳をくっつけないといけないといっていました。ピットで音を聴き、響きを読み、反応するため、この場所では特殊な耳に切り替える必要があるのだと。私もその意見に完全に同意します。

歴史的な場所ですから、大きな責任を感じ、同時にその伝統の一部になれることが信じられない気持ちです。

**—日本フィル首席指揮者として、ラストシーズンを迎えます。**

どんなことにも終わりはありますが、その時は最高の地点で終わるほうがいいと私は思います。任期の最後の公演は、ベートーヴェンの《第九》とシベリウスのクレルヴォ交響曲となります。ベートーヴェン・ツィクルスを完走させ、特別なシベリウスの作品で終わるというのは、良い結末なのではないかと思います。正しい道筋をたどり、一度ここで締めくくって、また新しいチャプターに入るという気持ちです。これからまた一緒に何ができるか、相談していけたら嬉しいです。

助成:
文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人 日本芸術文化振興会

## ■ 寄付の御礼

今般のコロナ禍による楽団存続に危機に際し、多くの企業、団体、個人の皆様からご理解とご支援をいただいておりますことに、心より感謝いたします。

この度三菱UFJフィナンシャル・グループより公益財団法人オーケストラ連盟を通じて、多額のご寄付を頂きました。心より御礼申し上げます。

## ■ 就任のお知らせ

2019年より日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターとして活躍している田野倉雅秋が2022年9月よりソロ・コンサートマスターに就任いたしました。

9月から新たな体制でより充実した演奏をお届けしてまいります。どうぞご期待ください。

## ■ 新入団員のお知らせ

2022年9月1日付でヴァイオリン・セクションに伊藤太郎が入団いたしました。今後の活躍にご期待ください。

## ■ テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組!『Welcomeクラシック』BS朝日 毎週水曜日22:54〜23:00(第3週、第4週は再放送)。登場するのは首席指揮者ピエタリ・インキネン＆山田和樹。ぜひご覧ください!

## ❖ プレトーク「本日の聴きどころ」

東京定期演奏会の土曜日は、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。今月は両日山田和樹が登場!

**金曜日18:30〜／土曜日13:20〜**

## ■ 新発売

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA Recordingsより新規2タイトル配信開始!

●山田和樹指揮　五十嵐琴未「桜暁」／水野修孝「交響曲第4番」

●沖澤のどか指揮　モーツァルト「魔笛」／メンデルスゾーン「スコットランド」

好評配信中
e-onkyo,Mora,レコチョクでハイレゾダウンロード販売!

## ■ もうすぐ発売

**2022年9月16日(金)発売**

**第九特別演奏会2022**

詳細はP16をご覧ください。

## ■ 好評発売中

**第239回芸劇シリーズ**

**2022年10月2日(日) 14:00開演**
**東京芸術劇場**

指揮:藤岡 幸夫　ピアノ:上原 彩子

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番
ベートーヴェン:交響曲第7番

**第398回名曲コンサート**

**2022年10月16日(日) 14:00開演**
**サントリーホール**

指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者]
ヴァイオリン:千住 真理子
オルガン:大平 健介

J.S.バッハ:トッカータとフーガ ニ短調 BWV565
サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン
ベートーヴェン:交響曲第5番《運命》他

**定期会員券ご寄付のお願い**

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

7月の東京定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。
(50音順・敬称略)根本 直之、松本 晶子、横手 栄子、匿名5名

**ご寄付の方法**　ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

※公演 1 週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター　〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1
TEL:03-5378-5911(平日11 時〜17 時)　FAX:03-5378-6161(24時間)　E-mail:order-ticket@japanphil.or.jp

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

# 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

楽団創立 1956 年 6 月

| | | | |
|---|---|---|---|
| 創立指揮者 | 渡邉 曉雄 | 首席指揮者 | ピエタリ・インキネン |
| 桂冠名誉指揮者 | 小林 研一郎 | 桂冠指揮者 兼 芸術顧問 | アレクサンドル・ラザレフ |
| 名誉指揮者 | ルカーチ・エルヴィン | フレンド・オブ・JPO(芸術顧問) | 広上 淳一 |
| 名誉指揮者 | ジェームズ・ロッホラン | 首席客演指揮者 | カーチュン・ウォン |
| 客員首席指揮者 | ネーメ・ヤルヴィ | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ソロ・コンサートマスター | 扇谷　泰朋 | | | |
| ソロ・コンサートマスター | 木野　雅之 | | | |
| ソロ・コンサートマスター | 田野倉雅秋 | | | |
| アシスタント・コンサートマスター | 千葉　清加 | | | |
| 第1ヴァイオリン | 伊藤　太郎□ | 太田　麻衣 | 九鬼　明子 | |
| | 齋藤　政和 | 榊　渚 | 竹歳　夏鈴 | |
| | 谷﨑　大起 | 田村　昭博 | 中谷　郁子 | |
| | 西村　優子 | 平井　幸子 | 本田　純一 | |
| 第2ヴァイオリン | 遠藤　直子 | 大貫　聖子 | 岡田　紗弓 | |
| | 加藤　祐一 | 神尾あずさ○ | 川口　貴 | |
| | 佐藤駿一郎 | 末廣　紗弓 | 豊田　早織 | |
| | 町田　匡 | 山田　千秋 | | |
| ヴィオラ | 安達　真理☆ | 小俣　由佳 | 小中澤基道 | |
| | 児仁井かおり | 高橋　智史 | 中川裕美子 | |
| | 中溝とも子 | 松澤　稚奈 | | |
| ソロ・チェロ | 菊地　知也 | | | |
| チェロ | 石崎　美雨 | 伊堂寺　聡 | 江原　望 | |
| | 大澤　哲弥 | 久保　公人 | 山田　智樹 | |
| | 横山　桂 | | | |
| コントラバス | 鈴村　優介 | 髙山　智仁◎ | 成澤　美紀 | |
| | 宮坂　典幸○ | 山口　雅之 | | |
| フルート | 齋藤　光晴 | 難波　薫 | 真鍋　恵子◎ | |
| オーボエ | 佐竹　真登 | 杉原由希子◎ | 松岡　裕雅○ | |
| クラリネット | 伊藤　寛隆◎ | 楠木　慶○ | 照沼　夢輝 | |
| | 堂面　宏起 | | | |
| ファゴット | 大内　秀介 | 鈴木　一志◎ | 田吉佑久子○ | |
| | 中川日出鷹 | | | |
| ホルン | 伊藤　舜 | 宇田　紀夫 | 信末　碩才◎ | |
| | 原川翔太郎 | 丸山　勉☆ | 村中　美菜 | |
| ソロ・トランペット | オッタビアーノ・クリストーフォリ | | | |
| トランペット | 大西　敏幸 | 中里　州宏 | 中務　朋子 | |
| | 星野　究 | | | |
| トロンボーン | 伊藤　雄太 | 伊波　睦 | 岸良　開城○ | |
| バス・トロンボーン | 中根　幹太 | | | |
| テューバ | 柳生　和大 | | | |
| ティンパニ | エリック・パケラ◎ | | | |
| パーカッション | 大河原　渉 | | | |
| ハープ | 松井　久子 | | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 楽団長 | 中根　幹太 | | |
| チーフステージマネージャー | 阿部　紋子 | | |
| ステージスタッフ | 長橋　健太 | 森田　大翔 | |
| チーフインスペクター | 佐藤駿一郎 | | |
| インスペクター | 宇田　紀夫 | 鈴村　優介 | |
| ライブラリアン | 鬼頭さやか | 杉本　哲也 | |

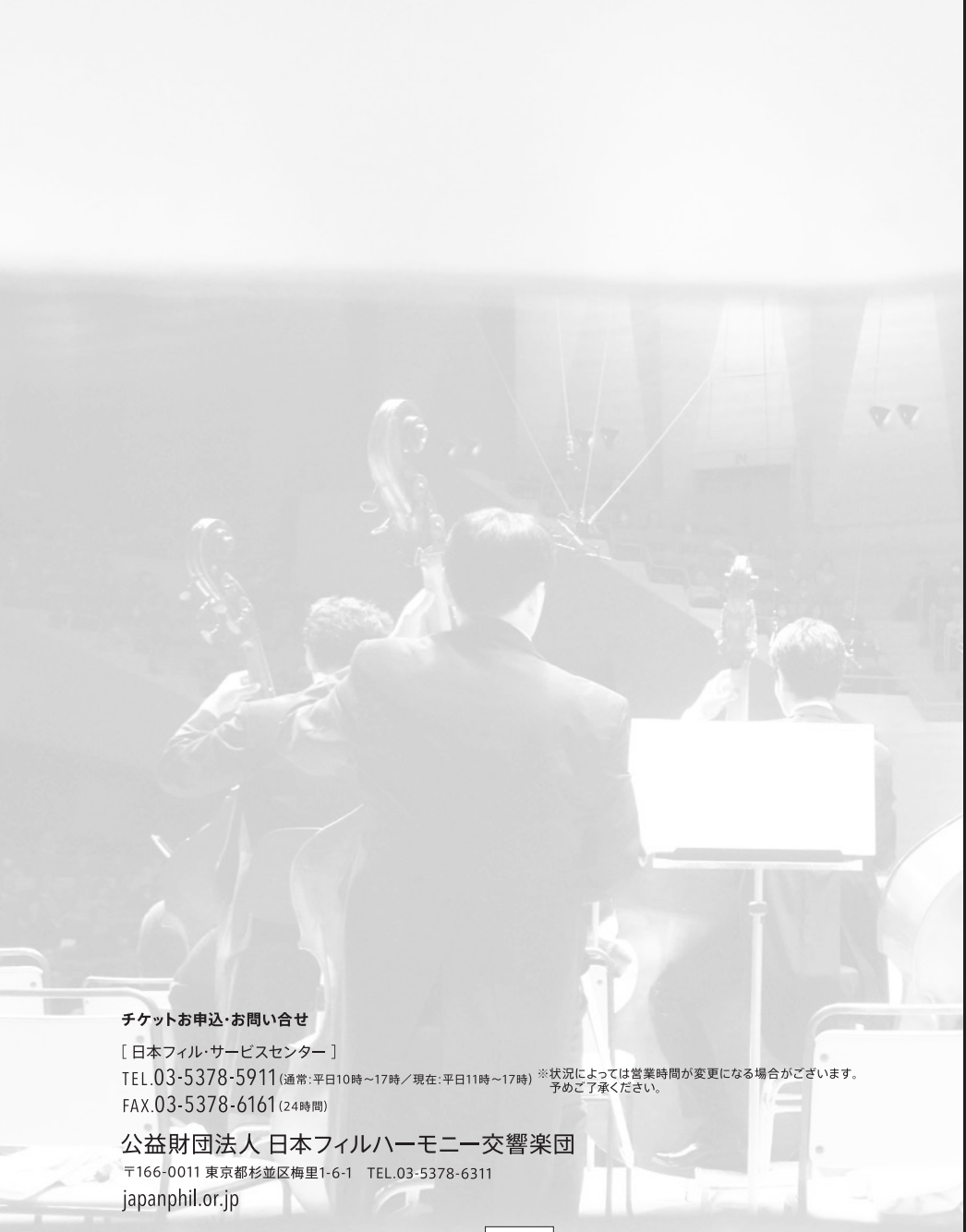
◎首席奏者　○副首席奏者　☆客演首席奏者　□試用期間

| | |
|---|---|
| 理事長(代表理事) | 平井　俊邦 |
| 副理事長(代表理事) | 五味　康昌 |
| 常務理事(代表理事) | 後藤　朋俊 |
| 常務理事(代表理事) | 中根　幹太 |
| 常務理事(代表理事) | 福井　英次 |
| 理事 | 石井啓一郎／遠藤　滋 |
| | 佐々木経世／田村　浩章 |
| | 戸所　邦弘／福本ともみ |
| 評議員会会長 | 加藤　丈夫 |
| 評議員 | 青井　浩／安孫子　正 |
| | 荒蒔康一郎／石塚　邦雄 |
| | 石村　等／稲垣　尚 |
| | 内川　清雄／大塚　宣夫 |
| | 海堀　周造／梶浦　卓一 |
| | 河北　博文／喜多　崇介 |
| | 木村　惠司／久保田　隆 |
| | 小林研一郎／島田　精一 |
| | 津田　義久／西澤　豊 |
| | 野間　省伸／葉田　順治 |
| | 村上典史子／山口多賀幸 |
| 監事 | 上條　貞夫 |
| 名誉顧問 | 熊谷　直彦 |
| 名誉顧問 | 島田　晴雄 |
| 名誉顧問 | 田邊　稔 |
| アドバイザリー・ボード | 大島　剛／小野　敏夫 |
| | 小網　忠明／後藤　茂 |
| | 武田　隆男／田邊　稔 |
| | 溝口　文雄 |
| コミュニケーション・ディレクター | マイケル・スペンサー |
| マネジメント・スタッフ | 磯部　一史／江原　陽子 |
| | 及川ひろか／小川紗智子 |
| | 荻島　里帆／賀澤　美和 |
| | 柏熊由紀子／小須田　萌 |
| | 佐々木文雄／澤田　智夫 |
| | 篠崎めぐみ／清水佑香子 |
| | 杉山　綾子／杉山まどか |
| | 高橋　勇人／田中　正彦 |
| | 槌谷　祐子／中村沙緒里 |
| | 西田　大輔／長谷川珠子 |
| | 馬場　桃子／藤田　千明 |
| | 別府　一樹／益滿　行裕 |
| | 宗澤　晶子／山岸　淳子 |
| | 吉岡　浩子 |

団友:

青柳　哲夫／青山　均／赤堀　泰江
浅井　俊雄／浅見　浩司／新井　豊治
石井啓一郎／伊藤　恒男／江藤　瓔子
遠藤　功／遠藤　剛史／大石　修
大川内　弘／大味　修／筧　美知子
金本　順子／蒲谷　隆行／川口　和宏
菊田　秋一／吉川　利幸／木村　正伸
小林　俊夫／小山　清／斎藤　千種
佐々木裕司／佐藤　玲子／菅原　光
髙木　裕子／髙木　雄司／高木　洋
高倉　理実／田沢　烈／立川　和男
堂阪　俊子／富樫　尚代／豊田　尚生
中川　二朗／永田　健一／中務　幸彦
奈切　敏郎／橋本　洋／畑井紀代子
平賀　法子／福島　喜裕／松本　克巳
松本　伸二／三谷　昭平／三本　克郎
宮武　良平／三好　明子／森　茂
山下　進三／山科　淑子／山本　辰夫
渡辺　哲雄

(2022年9月1日現在)



**チケットお申込・お問い合せ**

[ 日本フィル・サービスセンター ]

TEL.03-5378-5911(通常:平日10時～17時／現在:平日11時～17時)

FAX.03-5378-6161(24時間)

※状況によっては営業時間が変更になる場合がございます。
予めご了承ください。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1　TEL.03-5378-6311

japanphil.or.jp

公式Twitter
@Japanphil

公式アカウント

BS朝日 5 「Welcome クラシック」指揮者が語るミニ番組
毎週水曜日 22:54～23:00 放送中!!

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA SUBSCRIPTION CONCERTS Vol.743

第743回東京定期演奏会